

## 東京湾ではじめて採集された コブクロモク ( 褐藻綱 )

高橋 昭 善 \*

A new record of *Sargassum crispifolium* Yamada  
(Phaeophyceae : Sargassaceae) in the Tokyo Bay

TAKAHASHI Akiyoshi\*

キーワード：東京湾， 分布， 褐藻綱， ホンダワラ科，  
コブクロモク

Key words: Tokyo Bay, distribution, Phaeophyceae,  
Sargassaceae, *Sargassum crispifolium*

コブクロモク *Sargassum crispifolium* Yamada ( 褐藻綱  
ホンダワラ科 ) の分布域は本州太平洋岸中部，四国，九  
州 ( 吉田，1998 ) とされる。これまで東京湾内における  
本種の採集記録はなかったが，2009年8月4日に三浦  
半島東部横須賀市走水海岸で採集したので報告する。

今回採集したホンダワラ属海藻は，1) 主枝は円柱  
状で細く，互生的に側枝が出る。2) 葉は中肋のある笹  
葉状で長さ3~5 cm，幅は最大で0.8 cm，先端に丸み  
があり，緑辺には細かい鋸歯がある。3) 気胞は小型の  
球形あるいは楕円形で冠葉はなく，気胞の柄は気胞よ  
り短いといった特徴があった。気胞の柄の長さは気胞  
の直径の1~2倍あり，葉は幅狭く中肋は不明である  
マメタワラとは明らかに異なる。以上のことから，こ  
の採集個体をコブクロモクと同定した ( 第1図 )。

神奈川県内におけるこれまでのコブクロモクの採集  
記録は，相模 ( Yamada, 1931 ; 岡村, 1936 ) ，材木座，  
由比ガ浜，大磯 ( 宮代コレクション植物標本目録作成  
編集委員会，2001 ) ，三浦，小田原，真鶴 ( 松浦，2004 )  
がある。また近年は，材木座，由比ガ浜，稲村ヶ崎，  
七里ヶ浜で採集されている ( 高橋・大森，2009 ) 。これ  
らの記録はいずれも相模湾沿岸であり，東京湾におけ  
る採集記録は無い ( 森田，1998 ; 高橋ほか，2005 ; Ohba  
*et al.*, 1988 ) 。そのため走水海岸に打ち上げられた今回の  
記録は東京湾内における初記録となる。なお，採集さ  
れた個体には付着器がないことから，東京湾外から運



第1図 コブクロモク *Sargassum crispifolium*. 横須賀市  
走水海岸 . 2009年8月4日 .

ばれた可能性も考えられる。

種の同定には東京海洋大学の田中次郎教授にご教示  
いただいた。謹んでお礼申し上げます。

### 引用文献

- 松浦正郎 2004. 相模湾の海藻 . 215 ページ，夢工房 .  
宮代コレクション植物標本目録作成編集委員会 2001.  
宮代コレクション植物標本目録 . 206 ページ，横浜市  
こども植物園 .  
森田哲生 1998. 観音崎たたら浜における確認海藻 . 水産  
植物研究会会報 : 128-133.  
Ohba H., Konno T., Ioriya T., Notoya M. and Miura A. 1988.  
Marine algae from Banda, Tateyama, Chiba Prefecture. *J.  
Tokyo Univ. Fish.*, **75** (2) : 405-413.  
岡村金太郎 1936. 日本海藻誌 . 962 ページ，内田老鶴圃 .  
高橋昭善・長谷川和清・田中次郎 2005. 横浜市の海藻  
および海草 . 横浜の川と海の生物，第10報 : 121-136.  
横浜市環境保全局 .  
高橋昭善・大森雄治 2009. 三浦半島海藻図鑑 . 208 ペー  
ジ，横須賀市自然・人文博物館 .  
Yamada Y. 1931. Notes on some Japanese algae II . *J. Fac.  
Sci. Hokkaido Univ.* ser. V, 1: 5-76.  
吉田忠生 1998. 新日本海藻誌 . 日本産海藻類総覧 . 1222  
ページ，内田老鶴圃 .